

読解力と語彙力の養成を目指した実践（英語）

兵庫県立山崎高等学校 校長 西川 茂樹
教諭 上本 善之

1 はじめに

兵庫県立山崎高等学校は、宍粟市に位置し、創立108年の伝統を誇る地域の中心校である。森林環境科学科（林業）、生活創造科（家政）、普通科の3学科を有し、県下でも数少ない専門学科と普通科が併設されている全日制の高等学校である。

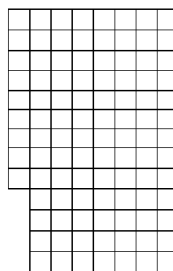
本校は、平成25年度よりNIE実践校の指定を受けた。生徒は、総じて語彙力が弱い傾向にあり、日本語、英語を問わず、「文章を読む」習慣が身に付いていない生徒が多いことに端を発する。本実践に期待されるのは、新聞記事を読み、情報を読み取る意義と達成感を実感させることである。「読む」ことが、課された「学習」ではなく、自分の興味のあることや、生きていくために必要な情報を入手するための「手段」とであると認識できれば、本実践が一過性のものではなく、その後の文字に触れる習慣を醸成するための有意義なものとなるだろう。

2 取り組みの概要

① 学年としての取り組み

当該学年ではNIE実践校の指定を受ける以前より、朝学習として、新聞のコラム要約に取り組んできた。生徒の要約した文章を各ホームルーム担任が添削し、返却後、コラム要約用のファイルに保存

させている。



コラム要約 NO.11
次の文章を読み、柱字以内で要約せよ。 (単 5分)

「お父さん、更なないで初めくろろうといわない命がめたら」9年前の10月、兵庫県三木市で発生した地震で、兵庫県立山崎高等学校の生徒が被災した。本校教諭の上本善之先生は、被災した生徒の心のケアに努め、被災地の支援活動にも参加した。被災地では、被災者の心のケアが重要視されている。被災者の心のケアには、被災者の生活状況や、被災者の心のケアに努める必要がある。被災者の心のケアには、被災者の生活状況や、被災者の心のケアに努める必要がある。被災者の心のケアには、被災者の生活状況や、被災者の心のケアに努める必要がある。

(注) 10月18日 発行

当初は読み慣れぬコラムに戸惑う生徒も多かったが、継続するうちに抵抗感も薄れ、ホームルーム担任のコメントを楽しみにする生徒も増えた。NIE実践校の指定を受けたため、扱える新聞コラムの種類が増え、生徒がより興味を持てるコラムを選定できるようになったことは僥倖であった。

② 教科としての取り組み

本校の「コミュニケーション英語Ⅰ」の授業内にて、英字新聞を活用して情報を読み取る訓練を行った。英語科教員としては、この②の実践が主の研究テーマとなる。当該学年普通科は、全員が英和辞典グランドセンチュリー（三省堂）を購入している。語彙力をつける、という目的に加え、「辞書を引いて課題を達成した」成功体験から、辞書を引く習慣をつけることを目標とした。次項は指導案と使用したワークシートである。

第1学年 コミュニケーション英語 I (NIE) 指導案 (略式)

1. 題材 “Typhoon, landslides devastate Oshima”

Mainichi Weekly (10/26/2013)

2. 対象 1年6組 男子23人 女子17人

3. 日時 平成25年11月7日(木) 4時間目

4. 授業の狙い

- ① 辞書を活用して、情報を適切に取り出すことができる。
- ② タイムリーなニュースを英語で読むことにより、英語を「教科」としてではなく、日常的に情報を入手するための「手段」として認識する。
- ③ 災害に関する語彙を増やす。

5. 評価の観点

① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	② 外国語表現の能力	③ 外国語理解の能力	④ 言語や文化についての知識・理解
-----------------------	------------	------------	-------------------

6. 指導過程

段階	時間	活動内容	指導上の留意点	評価
導入	10分	トピックに関する Oral Introduction の後、本時に取り扱う記事の内容に関連した英語のニュース動画を見る	災害に関する専門用語が多いため、キーワードの指導は丁寧に行う	③④ ニュースで使われる早い英語を聞き取れているか
展開	37分	ワークシートに示されたキーワードの発音、意味を全員で確認する	生徒の語彙力を大きく超えているキーワードのみの紹介に留めておく	①③ 積極的に発音に取り組んでいるか
		グループで辞書を活用し、情報を読み取り、ワークシートの質問に答えていく	机間巡視中、教師からの指導は全て英語で行う。生徒同士の日本語の使用は可能とする	①②③④ グループでの活動に積極的に取り組み、本文の内容を理解しているか
		グループごとに答えを板書し、クラス全体で確認する。Q8では、個人を指名し、意見を全体で共有する	挙手で回答させるが、必ず全てのグループが発表できるようにする	①② 協力して目標を達成できたか
まとめ	3分	ワークシートを提出する	Q8 を発表できていない生徒の意見を確認し、後日コメントと共に返却する	① 活動に積極的に取り組んでいたか

Newspaper in Education (NIE) Project


Session 1 Sakurajima volcano erupts spectacularly

Read the article from Mainichi Weekly (8/31/2013), and answer the following questions.

Sakurajima volcano erupts spectacularly

Residents in Kagoshima city were busy washing ash off the streets on Aug. 19 after a volcano on nearby Sakurajima spewed a record-high smoke plume into the sky.

Ash wafted as high as 5 kilometers above the volcano in Kagoshima on Aug. 18, forming its highest plume since the Japan Meteorological Agency started keeping records in 2006. A pyroclastic flow extending about one kilometer from the fissure was



observed, and several huge volcanic rocks rolled down the mountainside. Though the eruption was more massive than usual, residents of the city of about 600,000 are used to hearing from their 1,117-meter neighbor. Kagoshima officials said in a statement that this was Sakurajima's 500th eruption this year alone.

"The smoke was a bit dramatic, but we are kind of used to it," said a city official. (AP)

KEYWORDS

volcano 「火山」	Japan Meteorological Agency 「気象庁」
erupt 「噴火する」	pyroclastic flow 「火砕流」
(後出 eruption は「噴火」)	
ash 「(火山)灰」	fissure 「割れ目」
spew 「噴出する」	mountainside 「山腹」
smoke plume 「噴煙」	[写真説明] billow 「もくもくと立ち昇る」
waft 「漂う」	

- Q1. Why were the residents in Kagoshima city busy on Aug. 19?
A. _____
- Q2. How high did the ash waft above the volcano?
A. _____
- Q3. What also happened when a pyroclastic flow was observed?
A. _____
- Q4. How many people live in Kagoshima city?
A. _____
- Q5. According to Kagoshima officials, how many times did the volcano erupt this year?
A. _____
- Q6. Were the residents in Kagoshima city afraid of the eruption?
A. _____
- Q7. What would you do if the mountain behind your house suddenly erupted?
A. _____

Class () No() Name()

Newspaper in Education (NIE) Project

Session 2 Typhoon, landslides devastate Oshima

Read the article from Mainichi Weekly (10/26/2013), and answer the following questions.


Typhoon, landslides devastate Oshima

Powerful Typhoon Wipha that hit Japan on the morning of Oct. 16 has left at least 30 people dead and 23 missing in four prefectures as of Oct. 20, according to the Fire and Disaster Management Agency (FDMA).

The typhoon, this year's 26th, triggered a mudslide on Mount Mihara in the Motomachi district of Oshima Island, laying waste to about 114 hectares and leaving 27 people dead and 19 missing on the island alone, according to FDMA and Oshima local authorities.

A total of 283 houses in the area sustained damage, with at least 30 of them badly damaged. The Japan Meteorological Agency had issued a torrential rain and landslide warning for the region nine hours before the mudslide slammed into the community. The town stopped short of advising residents to evacuate, however, on the grounds that the agency's warning information is nonbinding for issuing such an advisory.

The typhoon left 83 people injured across the country, accord-



ing to a Mainichi Shimbun tally. The FDMA said more than 3,000 houses were flooded in areas affected by the disaster.

KEYWORDS (☆マークのついている表現は特に覚えておこう！)

landslide 「土砂崩れ」 (= 後出 mudslide)	slam into ~ 「～に押し寄せる」
☆devastate ~ 「～を壊滅させる」	(☆slam (0°など)をバタンと閉める、叩きつける)
(後出 "lay waste to ~" も同意)	stop short of ~ 「～するまでには至らない」
Typhoon Wipha 「台風26号のこと」	☆evacuate 「避難する」
Fire...Agency(FDMA) 「総務省消防庁」	on the grounds that ~ 「～という理由で」
☆trigger 「引き起こす」	nonbinding 「強制力のない」
sustain damage 「損害を被る」	(☆bind 「～を縛る、拘束する」)
(☆sustain 「～を維持する」)	tally 「集計」
Japan Meteorological Agency 「気象庁」	☆(be) flooded 「浸水する」
torrential rain 「集中豪雨」	[写真説明] ☆debris 「がれき」

- Q1. When did Typhoon Wipha hit Japan?
A. _____
- Q2. What did the typhoon trigger on Mount Mihara, in the Motomachi district of Oshima Island?
A. _____
- Q3. According to FDMA, how many people died by the typhoon on the island alone?
A. _____
- Q4. How many houses in the area of Oshima sustained damage?
A. _____
- Q5. What had the Japan Meteorological Agency done nine hours before the mudslide slammed into the community?
A. _____
- Q6. Why did the town stop short of advising residents to evacuate?
A. _____
- Q7. According to a Mainichi Shimbun tally, how many people were left injured across the country?
A. _____
- Q8. What will you do if a huge typhoon such as Typhoon Wipha hits Shio city?
A. _____

Class () No() Name()

本校の生徒、特に1年生にとって、新聞の記事を英語で読むのはかなりハードルの高い活動である。従って、活動に使う素材は、その時点ですでに生徒がテレビのニュースなどで見聞きした可能性が高いものを選んだ。また、大型テレビでニュースに関連したビデオクリップを見せ、背景知識を映像から導入しておいたことも、読むことに対する抵抗感を弱める効果があったようだ。(動画を利用する場合はストリーミング配信に限定し、著作権法に配慮した)

各グループでの活動では、辞書を活用しながら、協力して課題に取り組んでいた。やはり文章のレベルが高く、キーワードを導入しても読み取りに苦労しているようだったが、グループ内の誰かが答えを導き出した時には、称賛し、認め合う姿が見られた。こちらの予想を上回って熱心に活動し、導き出した答えが全て正解だったグループの中には、互いにハイタッチをして喜ぶ者もいたほどで、実践者としても驚かされた。

③ ホームルーム担任としての取り組み

特に気になった記事に関しては、ショートホームルームで紹介し、教室に配置した。大学進学希望者を主とするクラスを担当していたため、入試の時期などはセンター試験や大学入試の問題と解説が載った新聞が役に立った。やはり、家庭で自発的に読ませることは難しいが、指導者から読む目的と読む対象を限定されていれば、興味を持って読む生徒が多くなるように感じられた。

3 実践の感想と今後の課題

最初にNIE実践校の指定を受け、英語科での実施を打診されたときには、「かなり難しいだろう」というのが第一印象であった。英字新聞で扱われる語彙と、生徒の語彙力の乖離が大きく、達成感を感じさせる授業をするには、素材が難しすぎるのではないかと思ったためである。それでも、辞書の有効活用と、英語を「目的」ではなく「手段」として使う良い機会になると考え、実践してきた。感想としては、案ずるより産むが易し、とでも言うべきか、生徒は生き生きと活動し、当初の目的は達成できたと言えるだろう。新聞の記事というのは、教科書や問題集の素材と比べて、生徒にとって身近で、タイムリーで、実生活との関連を感じさせるものであり、これが、難しい文章でも生徒が興味を持って取り組めた理由だと考える。

今後の課題は、実施回数を増やす、または、より有効な活用法を考えることである。英語科の実践としては3回の授業を予定していたが、臨時休校の影響で2回に留まってしまった。また、「新聞の情報を読み取る」段階に留まり、「読み取った情報から、自分の考えを述べる」までには昇華できていない。2年次では、コミュニケーション英語Ⅱの授業内で、英語ディベートの指導を予定しており、新聞記事から *controversial* な(賛否両論ありそうな)トピックを選び、ディベートの論題として活用したい。